

2024年度 1学期 特別授業一覧

授業名	開講時間	開講日	授業料	授業概要
デッサン（月火曜）	18:00～21:00 (週6時間)	5/13 (月) 5/14 (火) 5/20 (月) 5/21 (火) 6/3 (月) 6/4 (火)	40,000円	この特別授業では、筑波大学や東京学芸大学、映像系学科（武蔵野美術大学、東京造形大学）、東京芸術大学先端芸術表現科などの実技試験がある大学学部学科のための基本的なデッサンの訓練を行いません。
小論文（月火曜）		6/10 (月) 6/11 (火) 6/17 (月) 6/18 (火) 6/24 (月) 6/25 (火)		この特別授業では、美術系大学受験者に向けた小論文を、基礎から学びます。1学期は小論文の書き方だけではなく、他者と少しでも差をつける文章を書くべく、専攻や広く表現への理解を深めることについても授業を行います。文章を書くことに自信がない人も、奮って参加して欲しいと考えています。（授業内容は受講者の志望校によって多少の変更あり）
美大英語（月火曜）		7/1 (月) 7/2 (火) 7/8 (月) 7/9 (火)		この授業では、英単語・英熟語の学習、英文法の復習、私大テストと共通試験の回答と解説を行います。限られた時間の中でできるだけ実技の学習に時間が割けるように、この学科の授業では、参加者個々人が自分に合った英語の勉強法を見つけるためのヒントをできる限り紹介します。
美大英語（水木曜）		5/15 (水) 5/16 (木) 5/22 (水) 5/23 (木) 6/5 (水) 6/6 (木) 6/12 (水) 6/13 (木)		英語試験で安定して合格点を取るためには、英語力の基礎の部分がかっちりしていること、つまり文法理解と語彙力をきちんと身につけていることが必要不可欠です。長文の読解力も、リスニング能力も、文法・語彙力の土台のうえにはじめて成り立ちます。この授業では、文法演習・単語学習を通じて、土台固めを行います。
美大国語（水木曜）		6/19 (水) 6/20 (木) 6/26 (水) 6/27 (木) 7/3 (水) 7/4 (木) 7/10 (水) 7/11 (木)		本文の読み方、問題の解き方について解説します。また、入試現代文で頻出のテーマを体系的に扱っていきます。授業内で演習と解説を行いますので、予習等は不要です。本文読解に関わる選択肢問題や記述問題で高得点を目指します。
小論文（土曜午後）	14:00～17:00 (週3時間)	5/11 (土) 5/18 (土) 5/25 (土) 6/8 (土)	20,000円	この特別授業では、美術系大学受験者に向けた小論文を、基礎から学びます。1学期は小論文の書き方だけではなく、他者と少しでも差をつける文章を書くべく、専攻や広く表現への理解を深めることについても授業を行います。文章を書くことに自信がない人も、奮って参加して欲しいと考えています。（授業内容は受講者の志望校によって多少の変更あり）
美大英語（土曜午後）				美大入試や共通テストでは長文問題が必ず出題されます。英語の長文を読めるようになるためには慣れが必要です。この授業では毎回の授業で長文問題を解くことによって、まずは長文問題に慣れることを目指します。同時に、長文問題を解くコツについても解説し、長文問題の解き方を身につけることを目指します。
美大国語（土曜夜間）	18:00～21:00 (週3時間)	6/15 (土) 6/29 (土) 7/6 (土) 7/13 (土)		東京芸術大学及び私立美大(武蔵野美術大学、多摩美術大学)の受験生を対象とした国語の授業です。過去問や問題集を使用し、速く正確に問題を解く練習をします。共通テストの国語、私立美大の学科試験(国語)で安定した点数を取れるよう、たくさん問題を解いて慣れていきましょう。
美大英語（土曜夜間）				美大入試や共通テストでは長文問題が必ず出題されます。英語の長文を読めるようになるためには慣れが必要です。この授業では毎回の授業で長文問題を解くことによって、まずは長文問題に慣れることを目指します。同時に、長文問題を解くコツについても解説し、長文問題の解き方を身につけることを目指します。
基礎デッサン（土曜）	14:00～21:00 (週6時間)	5/11 (土) 5/18 (土) 5/25 (土) 6/8 (土) 6/15 (土) 6/29 (土) 7/6 (土) 7/13 (土)	40,000円	「観察について」「画材について」「線のストレッチ」にはじまり、「デッサンの大切な6つの要素（かたち/立体感/光と陰/パース/色/質感）」を一つ一つ丁寧にレクチャーし各受講生の理解度を確認しながら指導をします。「観察とは理解すること」観察のポイントを学び、モチーフを漠然と写し取るのではなく、具体的に"理解"して描くことができるようになります。デッサンの基礎を学び、「よく観る」とこと「意識して描く」習慣がつく授業です。 ※前半4回で授業が終了となり、後半4回は別の特別授業を受講いただきます。後半4回の授業の選択については、別途、「基礎デッサン」受講者へお知らせいたします。
芸大デザイン石膏デッサン（土曜）				東京芸術大学デザイン科一次試験科目にある石膏デッサンを行います。基本的な観察方法を確認しながら、レベルアップを目指します。講師によるデモストや解説、短時間でのクロッキーなども行います。石膏像の構造とその空間。人体像としての佇まい、表情などの雰囲気客観的に観察し、表現することを目指します。クロッキーを行うことでデッサンでの描き出しを学びます。
芸大デザイン構成デッサン（土曜）				東京芸術大学デザイン科実技試験科目である構成デッサンを受講できます。手や様々なモチーフをデッサンし、構成の基礎を学んでゆきます。モチーフの観察力を養うことから、鉛筆での質感や立体表現などを学び、課題によって与えられた要素を再構成する力を強化します。
私大デザイン静物デッサン（土曜）				台上に設置してあるモチーフの観察から、物体の質感、固有色、光のルールを読み取り、鉛筆で素描します。実在するモチーフの観察を通して基礎のデッサン力を育みます。構成課題にも応用できるモチーフの観察力を身につけます。
私大デザイン構成デッサン（土曜）				手の構成デッサンの基礎力を身につけるための授業です。週毎に異なるモチーフやテーマの課題制作に取り組んでもらいます。課題制作を通して、美大入試で求められる発想力・構成力・描画の身につけます。美大入試の手の構成デッサンで求められる発想力・構成力・描画の身につけることが目標です。
油絵（土曜）				絵画表現に必要な要素を学びます。描写力・観察力・視点・構想力・構成力の向上を目指します。
日本画（土曜）				この特別授業では日本画のデッサン、着彩の基礎を学びます。まず1学期は石膏像（単体）や花を中心とした静物課題に取り組みます。デッサン、着彩ともに構図と形、空間などを表現するための基礎的な知識と技術を習得することを目標とします。
彫刻（土曜）				入試で求められるデッサン力、造形力を養うため、素描、彫刻とバランス良く授業を行います。年度初めは、入試を想定した通常課題だけでなく、レクチャー等も行います。志望校に合格するため、各自が課題意識を持った制作を行い、より効果的な学習を行います。
基礎デッサン（日曜）	10:00～17:00 (週6時間)	5/12 (日) 5/19 (日) 5/26 (日) 6/9 (日) 6/16 (日) 6/30 (日) 7/7 (日) 7/14 (日)	40,000円	「観察について」「画材について」「線のストレッチ」にはじまり、「デッサンの大切な6つの要素（かたち/立体感/光と陰/パース/色/質感）」を一つ一つ丁寧にレクチャーし各受講生の理解度を確認しながら指導をします。「観察とは理解すること」観察のポイントを学び、モチーフを漠然と写し取るのではなく、具体的に"理解"して描くことができるようになります。デッサンの基礎を学び、「よく観る」とこと「意識して描く」習慣がつく授業です。 ※前半4回で授業が終了となり、後半4回は別の特別授業を受講いただきます。後半4回の授業の選択については、別途、「基礎デッサン」受講者へお知らせいたします。
人物デッサン（日曜）				ヌードモデルや着衣モデルを描くことを通しながらデッサンの基礎を学びます。人体の構造は複雑ですが、動きにはルールがあり捉えるコツがあります。難易度の高いモチーフですが、学べることが多いので実力は着実についていきます。受験でモチーフとして課されることがありますので、受験対策にもなります。構造への理解力を向上させ、自在に人体が描けるような実力を身につけることを目指します。
芸大デザイン二次対策（日曜）				東京芸術大学デザイン科二次試験対策を行います。授業は基本的に色彩構成対策と立体構成対策を交互に行います。トライアル期間は色彩か立体か選択可能で2週つづけて同じ課題を行います。基礎的な技術の習得と、発想力、アイデアの展開力、課題への対応力の養成をします。
私大デザイン平面対策（日曜）				平面構成を、イメージ、形態、色彩など、様々な角度から学ぶ授業です。色彩と構を成用いて、自分の伝えたいことを明確に表現できる技術を養うことを目標としています。
私大デザイン立体対策（日曜）				デザインの基礎力を身に付けるための授業です。週毎に異なる素材や言葉と向き合います。制作とプレゼンを通し、アイデアを形にする力と、自身の作品の魅力を言語化する能力を身に付けます。制作とプレゼンを通し、アイデアを形にする力と、自身の作品の魅力を言語化する能力を身に付けます。課題毎の特性や、自身の制作における無意識のこだわりと向き合い、進路の選択を確定する為の判断材料を集めることが目標です。
芸大工芸二次対策（日曜）				東京芸術大学二次試験課題である色彩構成と立体構成を学びます。感性や造形感覚と創造的な構成の能力を高める。また色彩の基礎や素材の理解など二次課題の構成に必要な基本的な能力を高めます。